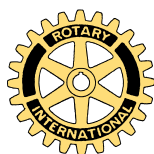


THE ROTARY CLUB OF KARIYA



Weekly



2018～2019年度 国際ロータリー バリー・ラシン 会長テーマ

BE THE INSPIRATION インスピレーションになろう

 創立 1954年3月8日
 承認 1954年3月30日

 例会日時 毎週月曜日
 12:30～13:30
 例会場 刈谷市新栄町3の26
 刈谷商工会議所内
 事務所 TEL <0566>22-2111
 FAX <0566>25-2111
 メール kariyac@katch.ne.jp
 ホームページ http://www.kariya-rotary.com
 会長 鈴木 文三郎
 幹事 豊田 貴久
 会報委員長 磯部 一智

この会報は、地球環境保全に考慮し再生紙を使用しています。

第3044回例会プログラム

[当年度=29回目；当月=3週目]

2019年（平成31年）3月18日(月)

1. 例会……………〈司会：プログラム委員会〉

- 12:28 1. チャイム
 12:30 2. 点鐘……………〈会長〉
 3. 開会宣言
 4. ロータリーソング斉唱
 ……それこそロータリー
 5. 講師・ゲスト並びにビジター紹介
 6. 食 事

- 12:45 7. 会長挨拶並びに会長報告
 8. 西三河分区分インターシティ・
 ミーティングお礼

 ……IM 副実行委員長
 成田 徹 様（三河安城 RC）

9. 退会会員挨拶……………田上 武 会員
 10. 幹事報告
 11. 出席報告
 12. 委員会報告
 13. ニコニコボックス報告
 14. 次週並びに次々週のプログラムの予告
 （3/25）……………
 花見例会（フェロシップ委員会）
 12:00～十朋亭および歴史博物館
 （4/1）……………休 会
 （クラブ定款第8条第1節（c））

- 13:00 15. 本日のプログラム
 卓話 「鮎について」
 講師 おけい鮎 橋本 博 様
 （紹介者 加藤大志朗 会員）
 16. 謝 辞
 17. 点 鐘……………〈会長〉
 18. 閉会宣言

- 13:30 19. 散 会

ビ ジ タ ー

三河安城 RC IM 副実行委員長 成田 徹 様

出 席

会員総数 96名 出席免除 24名
 出席義務者+免除者の内例会出席者 89名
 欠 席 7名 出席率 92.13%
 前々回（3/4）の修正出席率 100%

会 長 報 告

- 1) 3月14日（木）、刈谷・知立合同ゴルフコンペ
 が、愛知カンツリー倶楽部で開催され、グロス
 102、ネット74.9で神谷強会員が優勝されました。
 同時開催の刈谷同好会でも、グロス102、ネット
 74.9にて神谷強会員が優勝されました。

幹 事 報 告

- 1) 田上会員が退会されましたので、現在の会員数は
 95名となります。
 2) 2019-20年度のロータリー手帳の注文について、
 名簿をまわしますので、要、不要の記入をお願いし
 ます。
 3) 本日例会終了後に事務局にて理事会を開催致し
 ます。関係の方はご出席をお願いします。

委 員 会 報 告

●フェロシップ委員会

- 1) 次週3月25日（月）開催の花見例会および刈谷歴
 史記念博物館見学についてご案内致します。例会の
 開催場所は亀城公園内にあります十朋亭2階となっ
 ております。なお、例会開始時間が12時からとなっ
 ておりますのでお間違いのないようお願い致します。
 例会終了後、十朋亭にてお食事、花見を楽しんで頂
 いた後、徒歩にて刈谷歴史博物館へご移動頂きます。
 当日は、前日曜日から開催されますさくらまつり
 のため公園駐車場の混雑が予想されます。恐れ入

ますが、お車は歴史博物館横に新設されました、駐車場をご利用頂きますようお願い致します。フェローシップ委員会メンバーが駐車場入り口と十朋亭までの道中ご案内致します。

会長あいさつ

鈴木文三郎



今から約2年前の2017年2月28日にウクレレの演奏を習い始めました。元々ハワイが大好きで、現地でウクレレの演奏を聴く機会もあり、興味はありましたが、2016年にふるさと納税の返礼品でウクレレをもらったことがキッカケで習い始めました。

ウクレレはハワイの楽器ですが、19世紀後半にポルトガルから伝わったのが始まりだそうです。当時ハワイ王国はサトウキビ畑の労働力として世界各国から移民を受け入れていました。ポルトガルもその一つでした。

1878年マデ이라島の港から419人のポルトガル移民を乗せて出航した船の中に、マニエル・ヌネス、オーガスト・ディアス、そしてホセ・ド・エスピリト・サントという3人の楽器職人がいました。

翌年8月ハワイに到着した彼らは、ハワイの木材コアを使ってブラギーニャという故郷の楽器を作り始めました。このブラギーニャが、今日までハワイの楽器として親しまれているウクレレの始まりだと言われています。

さて、ウクレレという名前はどのようにしてついたのでしょうか。所説ありますが、その一つに兵役を終えてハワイにやって来たイギリス軍人エドワード・パーヴィスはブラギーニャに興味を持ち、マスターすると群衆のまえで演奏を披露した。小柄なエドワードが演奏する姿を見た人たちが親しみを込めて「飛び跳ねる蚤」つまり UKU (蚤) LELE (飛び跳ねる) と呼んだのだという説。別の解釈によると、素早い指の動きが飛び跳ねる蚤を思い起させたという説もあります。また、カラカウア王の妹でハワイ王朝最後の女王となったリリウオカラニは、UKU には「贈り物」という意味もあり LELE には「やって来る」という意味もあるので、「到来した贈り物」つまりポルトガルからハワイへの贈り物とう気品のある解釈をしています。

余談ですが、今やハワイでは正装となっているアロハシャツは、日本からの移民がヨーロッパの船員たちが来ていた開襟シャツ「パラカ」を見て、日本から持参してきた着物の生地を再利用してパラカ風に仕立てたのが起源とされています。他には、日本の着物の美しさに惹かれた現地の人が「着物をシャツにしてくれ」と頼んだのが起源という説もあります。

1935年6月28日、ホノルルの服飾店「ムサシヤ・ショールテン」が Honolulu Advertiser に掲出した広告中に Aloha Shirt という文字を見ることが出来ます。「ムサシヤ」は1904年に宮本長太郎によって創業されたという記録があります。

ハワイはポリネシアからカヌーで移り住んできた先住民と、世界各国からの移民で構成されており、それぞれの民族の文化を色濃く残していることから、ニューヨークが「人種のるつぼ」と言われるのに対してハワイは「民族のパッチワーク」と言われています。

ハワイに行きたくなくなってきました。

退会会員あいさつ



田上 武 会員

卓 話

「鮭について」

講師 おけい鮭 橋本 博 様



日本では鮭屋の数が減少しており、海外では増えています。日本の店を閉め、海外で出店する店も多くあります。その客単価は約2000ドル（20万）、日本では4万円でも高いと言われそうですが、外国人の鮭に対する需要は驚くべきものです。

私たちが食べている鮭。実は、鮭を作ったのは日本人ではなく、東南アジアの先住民と言われています。鮭の語源は「酢し」であり、酸っぱくなった飯と魚と一緒に保存し、発酵した飯の味がしみこみ、酸味に加え甘味加わる、それが、鮭の起こりにあたる。鮭にはふなずし、なれずし、なまなれずし、にぎりずし、巻ずしというように幾つも種類がある。味の嗜好も地方によって違い、関東はきりっとした酸っぱさが好まれ、関西へ行くにつれ甘みが強くなります。

鮭、天麩羅、そばは江戸時代屋台で販売されており、江戸中期以降、鮭が記録に登場するようになり、江戸末期には屋台で手軽に食べられるようになったようです。

江戸末期から現在に至るまで、鮭の伝統も形態を変えて受け継がれてきました。現代ではカリフォルニアロールに代表されるように、いろんなバラエティの鮭があり、鮭の形態も変化する必要がある。例えば、甘エビのみそを使ったものや、手前味噌ならぬ手前醤油、柑橘系のす

だち等を使ったりと、五感で感じるものが鮎の表現の目指すところと考えます。

中部は魚の豊富な地方で、鮎が発展する可能性がある地方です。日本の食文化を代表するのが鮎であり、今後も鮎屋をよろしく願います。

第10回理事会

- I 会長挨拶 〈会 長〉
- II 議 題
1. 4・5月のプログラム（案）について
〈クラブ奉仕委員長〉
〈プログラム委員長〉
2. 新入会員について
〈幹 事〉
3. 職業表彰について
〈職業奉仕委員長〉
4. FC 刈谷協賛について
〈社会奉仕委員長〉
5. その他
- III 会場監督の所見

3月度刈谷 RC ゴルフ例会

平成31年3月14日(木)

於：愛知カンツリー倶楽部

成 績	氏 名	G	H	N
優 勝	神谷 強	102	27.1	74.9
2 位	奥野 櫻子	83	8.6	74.4
3 位	新海 伸二	96	19.7	76.3
B B	安藤順太郎	121	29.6	91.4



刈谷・知立合同親睦ゴルフ

優勝 神谷 強 会員

